

JAバンクあきたの地域密着型金融の取組みについて

平成22年9月

JAバンクあきた

JAバンクあきたにおける地域密着型金融の取組状況（平成21年度）

JAバンクあきた（秋田県下16JAと農林中央金庫秋田支店）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

平成21年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

農林中央金庫 秋田支店

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （JAバンクあきたの農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンクあきたは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンクあきたは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成22年3月末時点のJAバンクあきたの農業関係資金残高は、485億円となっています。

【資金種別農業資金残高】 単位 億円

種 類	22年3月末現在
プロパー資金	310
農業制度資金	175
農業近代化資金	29
その他制度資金	146
合 計	485

（注）

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 億円

種 類	22年3月末現在
日本政策金融公庫資金	298

（注）

JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 億円

	22年3月末現在
農業	458
穀作	84
野菜・園芸	5
果樹・樹園農業	1
養豚・肉牛・酪農	30
養鶏・鶏卵	2
その他農業	336
農業関連団体等	27
合計	485

(注)

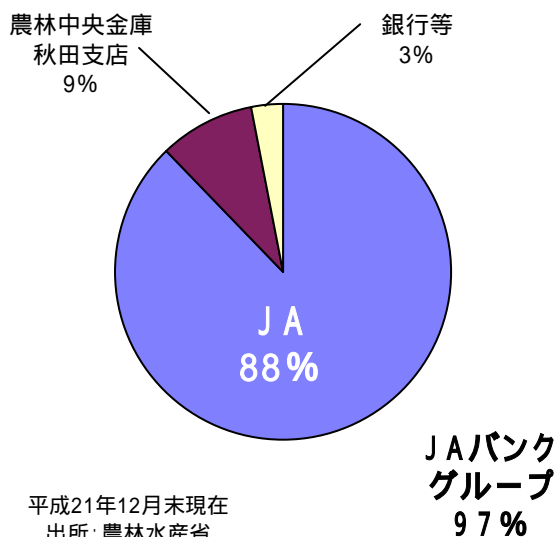
1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

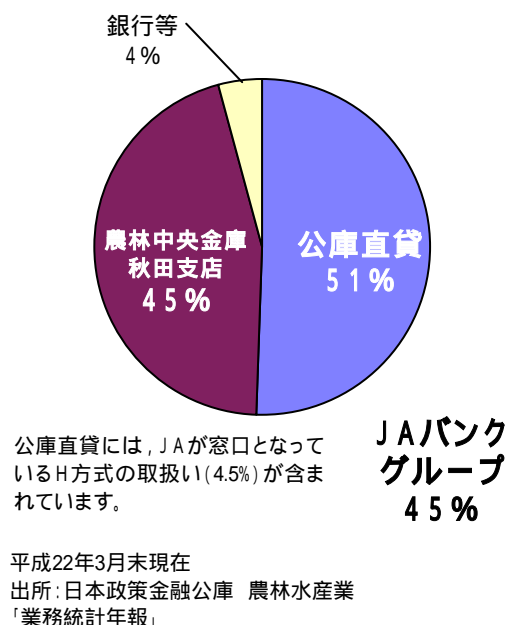
3 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策公庫農業資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【秋田県の農業近代化資金のシェア】



【秋田県の日本政策公庫農業資金のシェア】



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンクあきたでは、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、16JAの本支店には64名の「担い手金融リーダー」が設置され、農業融資担当者の活動をサポートしています。

農林中金秋田支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取組みをサポート（農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など）しています。また、担い手金融リーダー会議・研修会を開催して、農業融資機能の強化策等を協議しました。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンクあきたは、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンクあきたでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 単位 件, 百万円

	平成 21 年度 実行件数	平成 21 年度 実行金額	平成 22 年 3 月末 残 高
就農支援資金実績	5	9	8 4

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンクあきたでは、平成 21 年度に新設された負債解消再チャレンジ支援事業（農業経営負担軽減支援資金利用者に対する利子補給等）に基づき、秋田県農業再生委員会において、認定農業者の経営再建に向けて関係機関と協議し、負債農家の再生に向けた取組みの支援しております（平成 21 年度の認定状況は、16 件、343 百万円）。

【平成 21 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】 (単位：先数)

	経営改善 支援取組 先	のうち	のうち	のうち	ランク アップ率 = /	事業計画 策定率 = /
		期末に債 務者区分 がランク アップし た先数	期末に債 務者区分 が変化し なかった 先数	再生計画 を策定し た先数		
	正常先	3 6 8	2	3 3 4	7	0 . 5 %
要 注 意 先	うちその他要注意先	1 3 0	2 9	9 4	2 5	2 2 . 3 %
	うち要管理先	1 9 7	2 7	1 3 6	5	1 3 . 7 %
	破綻懸念先	1 2 7	2 5	9 1	2 5	1 9 . 7 %
	実質破綻先	1 4 0	3 0	9 7	7	2 1 . 4 %
	破綻先	1 6	1	1 5	0	6 . 3 %
	小計(~ の計)	6 1 0	1 1 2	4 3 3	6 2	1 8 . 4 %
	合計	9 7 8	1 1 4	7 6 7	6 9	1 1 . 7 %

(注1) 経営改善支援取組先は、JAが再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分不変先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

(注2) 本表は秋田県内各JAからの報告を集計したものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンクあきたでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンクあきたでは、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。平成21年度の実績は以下のとおりです。

【平成21年度負債整理資金の貸出実績】 単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	H22/3末 残高
農業経営負担軽減支援資金	32	541	1,364
畜産特別支援資金	15	457	625
その他	18	137	1,636
合計	65	1,135	3,625

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンクあきたでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 被災者への支援

JAバンクあきたでは、被災者等を支援するため、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
運転資金等の緊急支援	JAあきた北	平成22年度の生産資材の購入資金について、無利子の融資を対応しました。	1	1
肥料農薬価格高騰対策資金の対応	JAあきた白神	肥料・農薬の購入に必要な資金のうち、価格高騰分の資金について融資を対応しました。	3	2
異常気象による農業所得減少に対する緊急支援	JA秋田みなみ	平成21年度の異常気象等で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給による低利資金を対応しました。	58	78
家畜飼料高騰対策および肉用牛価格低迷対策	JAうご	預託家畜飼養農家への支援対策として、預託金利の引下げを対応しました。	14	-
合計			76	81

(2) 地域住民の農業に対する理解促進

JAバンクあきたは、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 251校へ、約1万セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による主な活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAかづの	小動物とふれあい 牧場体験学習	親子で牧場体験（牛の乳搾り等）や小動物とのふれあいで、食・命の大切さについて学びました。
JAあきた北	親子きりたんぼ教室	親子で地元の農産物を使った料理教室を行いました。
JA鷹巣町	ふれあい農園	小学生・園児を対象に、野菜栽培を通じて植物生育と食の大切さを学びました。
JAあきた北央	たんぼの生きもの 調査	小学生を対象に、たんぼのまわりに生息する生きもの達の調査を実施しました。
JAあきた白神	小学生の稲作り体験学習	苗の手植えや生育観察、無人ヘリ散布見学会、稲刈り体験、試食会などの農業体験学習を行いました。
JA秋田やまもと	農業体験スクール	小学生を対象に、じゅんさい摘み取り・稲刈り・リンゴもぎ取りの農作業体験学習を行いました。
JAあきた湖東	湖東の恵み収穫体験	小学生親子による枝豆・とうもろこしの収穫体験や、郷土料理について学習しました。
JA秋田みなみ	男鹿・春日井児童交流学習会	愛知県春日井市の児童が男鹿市を訪れ、地元の児童とともに農業体験学習を行いました。
JA大潟村	卸売市場見学	小学生を対象に、秋田卸売市場を見学し、農産物の流通について学習しました。
JA新あきた	インターネットには載っていないおばあちゃんの味（技）教えます	小中学生を対象に、田植えなどの農業体験や、地域の食材を使った調理実習などを行いました。
JA秋田しんせい	あぐりスクール	小学生を対象に、作物の種まきから収穫までの農業体験や、調理実習を行いました。
JA秋田おばこ	おばこ家庭料理・味自慢 2009	小学生を対象に、地元農産物を使った伝統食料理の展示・試食や、お米料理のケーキずし作りに挑戦しました。
JA秋田ふるさと	ふるさと農業体験	小学生親子を対象に、農業体験ツアーを行いました。
JAおものがわ	お米勉強会	小学生親子を対象に、お米と私たちの体や環境との関わりについての勉強会を行いました。
JAこまち	保育園児農業体験事業	保育園児を対象に、青年部によるジャガイモの作付け・収穫体験を行いました。
JAうご	地元農業施設学習会	小学生を対象に、管内の農業関連施設の見学を行いました。

以上